

三重県議会の広聴広報にかかる県民意識調査

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
議会事務局	2011年11月25日から 2011年12月12日まで	1590	1068	67%

三重県議会では、県民の皆さまに開かれた議会活動を進めていくため、さまざまな広聴広報活動を行っていますが、今後より効果的な取り組みにしていくため、アンケートを実施します。

■ 添付ファイル

- [県議会10大ニュース各候補概要](#)

■ Q1 県議会への関心度

あなたは県行政または県議会に関心がありますか。

合計	1068	
県行政及び県議会の両方とも関心がある	448	41.9%
県行政には関心があるが、県議会には関心がない	260	24.3%
県議会には関心があるが、県行政には関心がない	12	1.1%
県行政及び県議会の両方とも関心がない	348	32.6%

■ Q2 議会の役割に対する認知度

県議会は、知事等の事務の執行について監視・評価を行うだけでなく、県政の重要な事項（条例、予算、総合計画等）を決定するとともに、県政の課題について独自に調査し、政策立案（議員提出条例や意見書の決議等）及び政策提言等を行っています。あなたは、議会のこうした役割をご存じでしたか。

合計	1068	
知っていた	277	25.9%
少し知っていた	418	39.1%
ほとんど知らなかった	373	34.9%

■ Q3 議会の会議の視聴度

あなたは県議会の会議（本会議、常任委員会、特別委員会、全員協議会など）を見たことがありますか。（複数回答可）

合計	1068	
議事堂で傍聴したことがある	14	1.3%
テレビ中継を見たことがある	395	37.0%

インターネット中継・録画を見たことがある	39	3.7%
見たことがない	645	60.4%

■ Q4 みえ現場de県議会の内容

県議会では、多様な県民の意見を県議会に取り入れる広聴機能を強化するため、「みえ現場de県議会」（H22は「みえ出前県議会」として2回）に取り組んでいます。

<参考> 実施概要については、こちらをご覧ください。

https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/87454000001_00007.htm

この取り組みについて、あなたはどう思われますか。

合計	1068	
良い取り組みであり、自ら参加してみたい (参加した)	178	16.7%
良い取り組みと思うが、自ら参加するつもりはない	768	71.9%
あまり良い取り組みとは思わない	80	7.5%
その他	42	3.9%

■ Q5 みえ現場de県議会の改善点

今後、「みえ現場de県議会」をより良いものとするために、どのようにすればよいと思いますか。（複数回答可）

合計	1068	
開催回数を増やしてほしい	153	14.3%
県内各地域で開催してほしい	576	53.9%
意見交換のテーマ数を増やしてほしい	255	23.9%
テーマを限定せず、自由に意見を述べる ことができる場にしてほしい	274	25.7%
できるだけ多くの人に参加できるように配慮 してほしい	385	36.0%
その他	80	7.5%

■ Q6 議会情報の入手方法

県議会では、県民の皆さんに県議会の情報をお知らせするため、さまざまな広報事業を行っていますが、あなたは県議会の情報をどこから入手されていますか。（複数回答可）

<参考> 各広報事業については、こちらをご覧ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/08081011283.htm>

合計	1068	
みえ県議会だより（年6回発行、各戸配布）	897	84.0%
みえ県議会新聞（年2回発行、伊勢新聞折込・公共施設配置）	29	2.7%
県議会ホームページ	78	7.3%

県議会提供のテレビ番組（年4回、特集番組「三重県議会ハイライト」を三重テレビで放映）	61	5.7%
新聞掲載広告「広報みえ」（年1回、主要6紙）	195	18.3%
新聞・テレビの各社による報道	293	27.4%
県議会議員個人（議員が発行する議会報告紙、議員が主催する議会報告会など）	77	7.2%
その他	25	2.3%

■ Q7 みえ県議会だより（広報紙）

「みえ県議会だより」について、あなたはどのような点を改善すればよいと思いますか。（複数回答可）
 <参考>これまで発行されたみえ県議会だよりは、こちらをご覧ください。
<https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/08084011271.htm>

合計	1068	
ページ数を増やして、より詳しく記載した方がよい	134	12.5%
記事を重要課題に絞って、詳しく記載した方がよい	346	32.4%
図やイラストをもっと使って分かりやすく記載した方がよい	588	55.1%
デザインやレイアウトを工夫した方がよい	211	19.8%
その他	85	8.0%

■ Q8 みえ県議会新聞（新聞企画広報）

県議会では、年2回「みえ県議会新聞」を発行し、伊勢新聞への折込のほか、県内公共施設等に配置しています。あなたはこの新聞を読んでみてどう思われますか。
 <参考>前回発行されたみえ県議会新聞は、こちらをご覧ください。
<https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/67540011288.htm>

合計	1068	
たいへん分かりやすく、もっと多く印刷・配布した方がよい	68	6.4%
分かりやすく、今までどおり続けた方がよい	465	43.5%
分かりにくいのが、内容を工夫して継続した方がよい	279	26.1%
継続しなくてよい	256	24.0%

■ Q9 県議会ハイライト（テレビ企画広報）

三重テレビ放送において本会議中継の他に、委員会活動などをコンパクトにまとめた「三重県議会ハイライト」という、15～30分の広報番組を年間4回放送しています。あなたはこの取り組みについて、どう思われま

すか。

<参考> 過去に放送した番組はこちらからをご覧ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/08083011290.htm>

合計	1068	
たいへん分かりやすく、もっと放送回数を増やした方がよい	76	7.1%
分かりやすく、今までどおり続けた方がよい	516	48.3%
分かりにくいのが、内容を工夫して継続した方がよい	287	26.9%
継続しなくてよい	189	17.7%

■ Q10 今後充実させる広報手段

県議会の活動を伝える手段として、今後さらに充実を図る、あるいは新たに取組んだ方がよいと思われるものは何ですか。最も該当すると思われるものを2つまで選んでください。

合計	1068	
みえ県議会だより	672	62.9%
みえ県議会新聞	68	6.4%
ホームページ	374	35.0%
県議会提供のテレビ番組「県議会ハイライト」	146	13.7%
新聞掲載広告「広報みえ」	284	26.6%
短文投稿サイト（ツイッター等）を活用した情報発信・提供	76	7.1%
県議会主催による「議会報告会」の実施	77	7.2%
県議会議員個人から	81	7.6%
その他	35	3.3%

■ Q11 議会モニター制度について

全国の自治体議会では、議会の運営方法や広報の取組内容について、県民の方のご意見を取り入れる「議会モニター制度」を設けている議会がありますが、こうした制度について、あなたはどのように思われますか。

合計	1068	
実施すべきで、自分も参加してみたい	262	24.5%
実施すべきだが、自分は参加しようとは思わない	604	56.6%
実施しなくてもよい（現在行われている広聴活動でよい）	164	15.4%
その他	38	3.6%

■ Q13 三重県議会 10大ニュース

県議会では、例年12月に1年間の県議会の主な活動内容を振り返る「三重県議会10大ニュース」を発表しています。

今年は、県民の皆さんのご意見も取り入れて選定していきたいと考えています。

皆さんが10大ニュースと思われる活動をから選んでください。【最大10個まで】

※各ニュースの概要は[別添PDFファイル](#)をご覧ください。

合計	1058	
議会改革諮問会議から最終答申が提出（1月）	67	6.3%
新エネルギー調査特別委員会が調査結果を報告（3月）	290	27.4%
高病原性鳥インフルエンザへの対応（委員会による現地調査等）（3月）	336	31.8%
東日本大震災に関する支援（3月）	784	74.1%
統一地方選挙の実施（新たな体制が決定）（4月）	261	24.7%
東日本大震災に関する復旧・復興支援調査特別委員会を設置（5月）	449	42.4%
議会基本条例に関する検証検討プロジェクト会議を設置（6月）	75	7.1%
会期等のさらなる見直しに関する検証検討プロジェクト会議を設置（6月）	87	8.2%
山本議長が全国都道府県議会議長会の会長に就任（6月）	72	6.8%
議会運営委員会をインターネット中継・録画配信開始（6月）	192	18.1%
議員報酬等に関する在り方調査会を設置（6月）	311	29.4%
紀伊半島三県議会交流会議の開催（7月）	127	12.0%
三重県議会トップセミナーの開催（7月）	89	8.4%
河南省友好提携25周年記念事業への議員派遣（8月）	31	2.9%
公共政策大学院とのインターンシップ制の実施（東大、京大計2名）（9月）	76	7.2%
歯と口腔の健康づくり推進条例検討会を設置（9月）	97	9.2%
台風12号による被害への対応（9月）	783	74.0%
「新たな県政ビジョン（みえ県民カビジョン）」及び「新たな行財政改革（三重県版事業仕分けを含む）」への対応（9月）	251	23.7%

現場de県議会の開催「離島振興」「女性の声を県政に」（11月）	172	16.3%
その他	28	2.6%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture

平成 23 年 三重県議会10大ニュース候補（概要）

10大ニュースの候補をリストアップさせていただきました。それぞれの内容は以下のとおりですので、皆さんの選定の参考にしてください。

1. 議会改革諮問会議から最終答申が提出（1月）

県議会の議会改革の取組を検証するため設けられた議会改革諮問会議（学識者など5人で構成）では、昨年5月の第一次答申で整理した主要課題の6項目について調査及び検討を進め、1月24日、議長に対し最終答申を行いました。

＜最終答申の主要項目＞

①市町議会との交流・連携、②政策広聴広報の取組、③広域自治体議会の役割、④会期のさらなる見直し、⑤議員間討議の充実 ほか



2. 新エネルギー調査特別委員会が調査結果を報告（3月）

低炭素社会の実現に向けた課題や、本県における新エネルギーの導入状況を調査し、新たな三重県新エネルギービジョンについて調査を行いました。

国や県から、国のエネルギー政策や新エネルギーの導入状況などを調査するとともに、ドイツから参考人を招致し、エネルギー事情について聴き取りを行いました。また、県内企業の聴き取りや県外の先進的な取り組みの調査を行い、新エネルギーの普及と施策展開の方向性について3月16日の本会議で報告しました。



3. 高病原性鳥インフルエンザへの対応（委員会による現地調査等）（3月）

県内で発生した高病原性鳥インフルエンザに対し、代表質問や一般質問、防災農水商工常任委員会及び予算決算常任委員会関係分科会などで、防疫対策や、発生した養鶏農家および周辺生産者への支援策などについて議論を行いました。

3月2日の本会議では、発生農場における殺処分や、制限区域内の消毒などに関する補正予算を可決し、国に対して「高病原性鳥インフルエンザへの対策の充実を求める意見書案」を全会一致で可決しました。

3月4日には防災農水商工常任委員会が南伊勢町での現地調査を行い、3月16日の本会議で防疫対策などにかかる補正予算を可決しました。



4. 東日本大震災に関する支援（3月）

＜義援金の寄付＞

三重県議会では、東日本大震災の被災者に対し、義援金 500 万円を日本赤十字社を通じて送ることとし、3月16日議事堂において、正副議長および各派代表者から、日本赤十字社にお渡ししました。

＜議員報酬からの拠出・政務調査費削減による支援＞

6月14日の代表者会議で東日本大震災への支援のため、議員報酬からの拠出及び政務調査費の削減を決め、議員報酬については、月額10%を1年分、議員が拠出することとなりました。また、政務調査費については、本年7月から平成24年6月までの1年間、会派分と議員分との合計額の20%を会派分から差し引くことが、6月28日の本会議で決定されました。議員報酬からの拠出額と政務調査費の削減額の合計は9,150万円となります。



5. 統一地方選挙の実施（新たな体制が決定）（4月）

4月の県議会議員選挙で新しく51人の議員が決まりました。5月には役員選挙を行い、議長に山本教和議員、副議長に中村進一議員を選出し、各委員会の委員・正副委員長などの選出を行いました。

＜会派の結成＞

新政みえ 24人、自民みらい 21人、鷹山 3人、
公明党 2人、みんなの党 1人



6. 東日本大震災に関する復旧・復興支援調査特別委員会を設置（5月）

東日本大震災に関する復旧・復興の支援について調査を行うための特別委員会を設置し、6月には被災地でのボランティア関係者等8人を参考人としてお招きし、被災地の被害状況や支援活動について意見聴取を行いました。8月には被災地域の現地調査を行い、その成果を踏まえ、支援の統一や長期支援について10月18日の本会議で報告しました。なお、6月補正予算では、東日本大震災を踏まえた防災・エネルギー対策が措置され、9月補正予算では、東日本大震災に係る復興支援・防災対策として約18億9千万円が措置されました。

7. 議会基本条例に関する検証検討プロジェクト会議を設置（6月）

三重県議会は、平成18年に都道府県議会で初めて議会基本条例を制定しました。その後4年以上が経過し、制定後の議会改革の取組や今後新たに取り組むべき方向性を見据えた検証が必要とする答申が議会改革諮問会議から提出されたことを受けて、議会改革推進会議に「議会基本条例に関する検証検討プロジェクト会議」を6月14日に設置しました。

各委員からは、検討すべき事項や課題について多岐にわたる意見が出され、他道府県の状況を調査しつつ、検討の優先順位をつけながら、最高法規性や反問権といった項目ごとに議論を進めています。

8. 会期等のさらなる見直しに関する検証検討プロジェクト会議を設置(6月)

三重県議会では、議会機能を強化するため会期等の見直しを行っていますが、さらなる検証検討を行うため、議会改革推進会議に「会期等のさらなる見直しに関する検証検討プロジェクト会議」を6月14日に設置しました。

当会議では、県議会の附属機関である「議会改革諮問会議」から受けた最終答申を踏まえ、過去に2回行った会期見直しの成果を再検証しながら、年1回の通年制への移行の可否やその課題等について検討を進めています。

9. 山本議長が全国都道府県議会議長会の会長に就任(6月)

平成23年6月17日、全国都道府県議会議長会臨時総会において、山本教和議長が第65代会長に選任されました。任期は2年間で、三重県からは初の会長就任となります。

全国都道府県議会議長会は、全国知事会などと合わせて地方六団体と呼ばれており、地方自治に関する事項について、内閣への申し出や国への意見提出などを通じ、地方の意思を国に伝える役割を担っています。

山本会長は、地方自治に影響を及ぼす国の施策について国と地方が企画段階から協議を行う「国と地方の協議の場」や、地方自治制度について審議を行う「第30次地方制度調査会」の一員としても参加されています。



10. 議会運営委員会をインターネット中継・録画配信開始(6月)

県民に開かれた議会を進めるため、これまで本会議、予算決算常任委員会、行政部門別常任委員会、特別委員会、全員協議会についてインターネット中継・録画配信をしていましたが、さらに平成23年6月より議会運営委員会もインターネット中継・録画配信されるようになりました。(ただし、開会日等提出議案について協議を行う会議に限られます。)

11. 議員報酬等に関する在り方調査会を設置(6月)

議員報酬や政務調査費の在り方を検討するため、大学教授など5名の外部有識者で構成する「議員報酬等に関する在り方調査会」を6月30日に設置しました。調査会では、議員活動実態アンケートや議員ヒアリングなどを行い、毎月1回の会議を経て、平成24年1月には議員報酬、同年6月には政務調査費についての報告を出すこととなっています。



12. 紀伊半島三県議会交流会議の開催（7月）

7月11日、紀伊半島三県（三重県、奈良県、和歌山県）議会による、第5回紀伊半島三県議会交流会議を和歌山県において開催しました。

会議では、紀伊半島の振興および発展に資するため、各県が直面している大規模地震対策や急激に進展する人口減少の中での過疎対策などの共通課題について意見交換を行い、紀伊半島各県議会議員の連携・交流を図りました。また、それぞれの課題の中から、大規模地震発生時における応急対策活動への財政措置や、過疎対策事業の再構築などにかかる国への要望書の提出について三県で合意しました。

13. 三重県議会トップセミナーの開催（7月）

三重県議会では、議員の政策形成能力の向上を図り、県議会での政策議論の充実や深化につなげていくため、地域課題や県政の重要事項などをテーマに専門家を招いた講演と意見交換を行うトップセミナーを今年から開催しています。

第1回は7月15日、「観光まちづくりの現状とこれからの方向性」をテーマに、東海大学観光学部教授からお話をいただきました。第2回は10月26日、「エネルギー政策の現状と課題」をテーマに、三重大学大学院教授及び中部電力㈱からお話をいただきました。なお、第3回は12月16日、「議員による条例づくりのススメ」をテーマに開催する予定です。



14. 河南省友好提携25周年記念事業への議員派遣（8月）

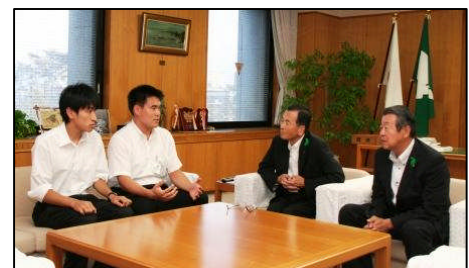
三重県と中国河南省は、昭和61年の友好提携締結以来、5年ごとに交互に記念事業を実施しています。25周年を迎えた本年は、8月27日から31日まで、河南省で記念式典等が開催され、三重県からは知事を団長とする政府代表団に、議会からも議長（副団長）や3人の議員が派遣されました。

河南省滞在中には、記念式典に参加して確認書の調印に立ち会ったほか、河南省の議会にあたる人民代表大会常務委員会の方々にも面会し、経済交流などについて意見交換を行いました。

15. 公共政策大学院とのインターンシップ制の実施（9月）

三重県議会における政策立案機能の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する実践的能力を有する人材の育成などを目的として、9月5日から9月28日までの期間で京都大学公共政策大学院と東京大学公共政策大学院の学生各1名を三重県議会インターンシップ実習生として受け入れました。こうした取組は今年で3年目となります。

実習生には、議会基本条例検討プロジェクト会議や議員報酬在り方調査会にかかる資料作成、打合せへの参加など、議会事務局における実務を経験していただきました。



16. 歯と口腔の健康づくり推進条例検討会を設置（9月）

9月14日、歯と口腔の健康づくりに関する事項を調査及び検討するための検討会を設置しました。

10月13日には、県歯科医師会の方を参考人として招致し、県内の歯と口腔に関する現状や課題を調査するとともに、条例の目的や基本理念、基本的施策等の検討を進めています。

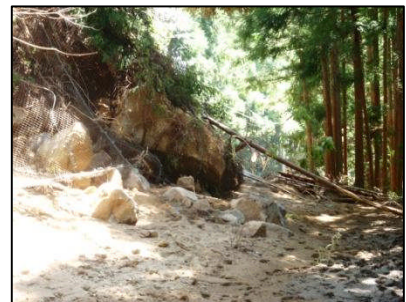


17. 台風12号による被害への対応（9月）

9月7日、台風12号による被害状況について県土整備企業常任委員会が現地調査を行い、9月12日、同被害の対応について、正副議長と同常任委員会正副委員長から知事に申入れを行いました。

なお、9月27日、台風による災害への対策を求める意見書を議決し、10月6日、国の関係省庁に対し要請活動を行いました。こうした要請活動は、和歌山、奈良、三重の三県議会が連名で全国議長会に緊急決議を要請し、決議されたことを受け、三県議会合同でも行っています。

また、10月補正予算では、台風12号災害にかかる被害者支援・応急復旧対策等として約289億円が措置されました。



18. 「新たな県政ビジョン（みえ県民力ビジョン）」及び「新たな行財政改革（三重県版事業仕分けを含む）」への対応（9月）

鈴木知事から、概ね10年先を見据えた県の長期的な戦略計画である「新たな県政ビジョン（みえ県民力ビジョン）」について、6月には骨格案、9月には中間案、11月には最終案が示されました。また、「三重県行財政改革取組」（三重県版事業仕分けを含む）について、9月には素案、11月には中間案が示されました。

県議会では、ビジョン案等の各段階において、全員協議会で全体的な質疑を行うとともに、常任委員会で詳細に調査し、11月4日、知事に対して県民の福祉の向上及び県勢の伸展に寄与する取組となるよう、申入れを行っています。

19. みえ現場 de 県議会の開催「離島振興」「女性の声を県政に」（11月）

三重県議会では、多様な県民の意見を県議会に取り入れる広聴機能を強化するため、「みえ現場 de 県議会」に取り組んでいます。11月12日には「離島振興」をテーマに鳥羽市の菅島と答志島の2島を訪問し、現地調査を行ったあと、住民の方々と暮らしの課題や地域の主産業である漁業のあり方などについてご意見をいただきました。

また、11月20日には「女性の声を県政に」のテーマに津市内で開催し、公募で集まった約30人の女性県民の方々が、①高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりのために、②仕事と子育ての調和のために、③命を守る防災対策のために、の3つの分科会に分かれて意見交換を行いました。

